

2008年

深刻な被害をもたらした四川大地震、食の安全問題、北京オリンピック、福田首相が辞任、麻生太郎内閣が発足、アメリカのサブプライム・ローン問題を発端として金融危機危機が世界に拡大するなど、内外で大きな動きや事件が相次いだ。日中平和友好条約締結三十周年にあたり、祝賀行事が両国で行なわれた。

△二〇〇八年の主な交流

◎1月 小澤征爾氏が中国国家大劇院こけら落とし公演で中国国家交響楽団



四川省・都江堰を訪れた日中文化交流協会代表団の(左から)保阪正康、辻井喬団長、鈴木爽司、鮫島有美子の諸氏。この九日後、四川大地震が発生し、日中文化交流協会の会員をはじめ各界から多額の救援金が寄託され、中国大使館へ届けられた

——二〇〇八年五月三日

同合唱団を指揮。

◎2月 凸版印刷制作「紫禁城・天子の宮殿」印刷博物館で一般公開、映画監督篠田正浩氏(当協会代表理事)が映像監修。唐家璇國務委員が来日、辻井喬会長、栗原小巻代表理事ら日中友好七団体代表が会見、東京で崔天凱駐日中国大使主催の歓迎レセプション。

◎3月 「世界舞踊祭二〇〇八」に中国から参加、黛民族舞踊文化財団と当協会が協力。

◎4月 歌舞伎俳優坂田藤十郎氏(当協会顧問)が上海「白玉蘭」演劇賞「特別貢献賞」受賞。写真展「悲劇の従軍

写真家 沙飛の日中戦争―日本初公開の秘蔵作品集(当協会など後援)開催。歌舞伎俳優中村富十郎氏(当協会顧問)に中国芸術研究院が名誉教授の称号授与。日本「中国曲芸鑑賞」訪中団(遠藤佳三顧問、田辺一鶴団長、小阪裕二秘書長、遠藤光世、岡村美紗子、加藤修弘、田辺銀治、照沼まりえ、名古屋隆俊、三橋貞子らの諸氏)訪中。楊潔篋外相が来日、日中友好七団体が歓迎昼食会、辻井喬会長、横川健常務理事が出席。

◎5月 日中文化交流協会代表団(辻井喬団長、鈴木爽司、保阪正康、齋藤憐、鮫島有美子、戸室道子、杉本まり子秘書の諸氏)訪中。北京開催の歌舞伎俳優坂東玉三郎氏と中国蘇州昆劇院の日中合同公演昆劇「牡丹亭」、舞踊「楊貴妃」(松竹主権)に日中文化交流協会代表団一行が招かれて鑑賞。胡錦濤主席が来日、日中友好七団体と華僑華人四団体が歓迎レセプション。日中平和友好条約締結三十周年記念「日中青年友好交流年」福田康夫首相、胡錦濤主席を迎えて開幕。四川大地震に対し、当協会が緊急援助を呼びかけ、中国文学芸術界

陳昊蘇会長(右三)、秦昭夫人(左三)ら中国人民対外友好協会代表団を歓迎する作家の宮本輝常任理事(右二)と妙子夫人(右四)、許金平(右一)、関立形(左一)、張子揚(左二)の諸氏と

◎6月 中国人強制連行の被害者代表らと日中友好七団体代表者が懇談。日本詩文書作家協会「日本の詩歌と書の世界」展、小沢昭一氏(日本新劇俳優協会会長)が記念講演「明日のこころ」。当協会が寄託を受けた四川大地震救援金(第一次分)を辻井喬会長が崔天凱大使に手渡す。

◎7月 中国人強制連行の被害者遺族、支援者らと日中友好七団体代表者が懇談。栗原小巻氏(当協会代表理事)が第九回長春映画祭「中日電影交流友好大使賞」を受賞。「第三回中国北京国際美術ビエンナーレ」(中国文学芸術界連合会、中国美術家協会など主催)開幕式に洋画家の入江観氏(当協会常任理事)をはじめ大成浩、小林裕児、小暮貴代の諸氏らが出席。中央美術学院附属中等美術学校代表団(孫偉校長)一行来日、当協会が協力。当協会が寄託を受けた四川大地震救援金(第二次分)を横川健専務理事と中野暁常任理事事務局長が中国大使館の張愛平公使参事官に手渡す。

◎8月 作家の茅野裕城子氏、上海市作家協会の「第一回上海写作(創作)計画」で上海に長期滞在。日本少年野球選手団(森川貴生団長)一行四十八名訪中。

◎9月 宋健中日友好協会会長が来日、日中友好七団体の主催で日中平和友好条約締結三十周年を記念する祝賀レセプションを開催、辻井喬会長らが出席。



陳昊蘇会長(右三)、秦昭夫人(左三)ら中国人民対外友好協会代表団を歓迎する作家の宮本輝常任理事(右二)と妙子夫人(右四)、許金平(右一)、関立形(左一)、張子揚(左二)の諸氏と

——十一月二十三日 大阪

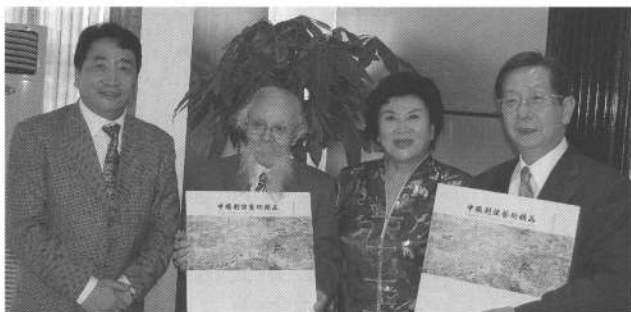
連合会代表団(李牧団長、呉長江、陳濟謀、宋国鋒、趙平の諸氏)来日。

◎6月 中国人強制連行の被害者代表らと日中友好七団体代表者が懇談。日本詩文書作家協会「日本の詩歌と書の世界」展、小沢昭一氏(日本新劇俳優協会会長)が記念講演「明日のこころ」。当協会が寄託を受けた四川大地震救援金(第一次分)を辻井喬会長が崔天凱大使に手渡す。

◎7月 中国人強制連行の被害者遺族、支援者らと日中友好七団体代表者が懇談。栗原小巻氏(当協会代表理事)が第九回長春映画祭「中日電影交流友好大使賞」を受賞。「第三回中国北京国際美術ビエンナーレ」(中国文学芸術界連合会、中国美術家協会など主催)開幕式に洋画家の入江観氏(当協会常任理事)をはじめ大成浩、小林裕児、小暮貴代の諸氏らが出席。中央美術学院附属中等美術学校代表団(孫偉校長)一行来日、当協会が協力。当協会が寄託を受けた四川大地震救援金(第二次分)を横川健専務理事と中野暁常任理事事務局長が中国大使館の張愛平公使参事官に手渡す。

◎8月 作家の茅野裕城子氏、上海市作家協会の「第一回上海写作(創作)計画」で上海に長期滞在。日本少年野球選手団(森川貴生団長)一行四十八名訪中。

◎9月 宋健中日友好協会会長が来日、日中友好七団体の主催で日中平和友好条約締結三十周年を記念する祝賀レセプションを開催、辻井喬会長らが出席。



中国の語り物、謡い物、曲芸、を鑑賞する訪中団。中国曲芸家協会の劉蘭芳主席(右二)、姜昆副主席(左一)の歓迎を受ける遠藤佳三顧問(右一)、田辺一鶴団長(左二) —4月19日 北京



「中国北京国際美術ビエンナーレ」開幕式で。(右から)入江観常任理事、孫家正中国文学芸術界連合会主席、靳尚誼中国美術家協会主席 —7月8日 北京・中国美術館



「友好の美展」が北京の中央美術学院で開催され、同学院附属中等美術学校と交流協定を結ぶ女子美術大学付属高等学校・中学校から約300作品が展示された。開幕式に出席した同校代表団。団長は入江観女子美顧問(二列目右二、当協会常任理事)。許娟中央美術学院附中副校長(同左二)ら —11月21日



1980年から続く日中少年野球交流。この年は日本の中国・四国地区から選抜された中学生チームが南京、無錫、常州で友好親善試合を行なった —8月24日 無錫

◎12月「中国アイト・フェスティバル二〇〇八」(中国文学芸術界連合会、当協会、同フェスティバル実行委員会主催)東京で開催、中国文学芸術界連合会代表団(胡振民団長)、芸術団(廖奔団長、黄文娟副団長)、映画代表団(許柏林団長)、美術家代表団(楊長槐団長)総勢一五〇余名が来日。加藤周一顧問逝去。

◎12月「中国アイト・フェスティバル二〇〇八」(中国文学芸術界連合会、当協会、同フェスティバル実行委員会主催)東京で開催、中国文学芸術界連合会代表団(胡振民団長)、芸術団(廖奔団長、黄文娟副団長)、映画代表団(許柏林団長)、美術家代表団(楊長槐団長)総勢一五〇余名が来日。加藤周一顧問逝去。

当協会が寄託を受けた四川大地震救援金(第三次分)を中野暁常任理事事務局長が中国大使館に手渡す。平頂山事件生存者王質梅氏と日中友好七団体の代表者が懇談。
◎10月「宮川寅雄(当協会元理事)長生誕一〇〇年」記念展、東京と香川で開催。井上靖夫人井上ふみ氏逝去。女子美術大学付属高・中学校鳴剛校長、中央美術学院附中創立五十五周年記念祝賀行事に出席のため訪中、当協会が協力。日本作家訪中団(宮本輝団長、重松清、恩田陸、角田光代、杉本まり

子秘書、橋本剛の諸氏)訪中。「日中平和友好条約締結三十周年記念祝賀レセプション」(中国人民対外友好協会、中日友好協会主催)北京・人民大会堂で開催。辻井喬会長、佐藤純子代表理事、横川健専務理事が出席。神田さち子氏の一人芝居「帰ってきたおばあさん」ハルビン公演(当協会協力)。
◎11月「人民文学」を読む会」訪中団(辻哲也団長、横川伸、高木晶子らの諸氏)訪中。日本書道界囲碁愛好者訪中団(大井錦亭団長、神林章夫顧問、高際翠邦副団長、千葉軒岳、南八郎、

木曾梅邦、田中廣悦、小阪裕二秘書の諸氏)訪中。北京で「大井錦亭六十年書法展」(中国書法家協会主催、当協会など協力)開催、開幕式に大井錦亭氏(当協会常任理事)らが出席。日中文化交流協会代表団(坂上弘団長、杉山まゆ奈、天童大人、阿部まさ子、吉野まや秘書の諸氏)訪中、上海市文学芸術界連合会の招き。中国人民対外友好協会代表団(陳昊蘇団長、秦昭、許金平、関立形、張子揚、王麟、鄭李旦の諸氏)来日、日中平和友好条約締結三十周年記念「陳昊蘇、辻井喬両会長に聞く」開催。北京・中央美術学院附中で「友好の美展」開催、開幕式に女子美術大学付属高・中学校代表団(入江観団長、遠山香苗、吉野まや及び学生の諸氏ら)が出席。日本文化界訪中団(澄川喜一団長、中村光男、瀧井敬子、岩城静二、樂雅臣、小暮貴代の諸氏)訪中。

2009年

中国は建国六十周年、北京での祝賀行事に辻井喬会長、黒井千次理事長、篠田正浩代表理事らが参加。国内では衆院選で自民党が大敗、鳩山由紀夫内閣が発足。公益法人制度の改革にともない、将来を見据え、創立以来の「任意団体」から「一般財団法人」に移行するための準備委員会を当協会に発足。



京劇俳優の尚長栄団長(左二)、話劇俳優の濮存昕副団長(右一)ら中国演劇家代表団と歓談する中村芝翫代表理事、雅子夫人(右二三)、栗原小巻代表理事(左一)

—二〇〇九年四月六日 東京

二〇〇九年の主な交流

◎3月 李長春常務委員が来日、日中友好七団体、華僑華人四団体が歓迎レセプション、辻井喬会長らが出席。
◎4月 中国演劇家代表団(尚長栄団長、濮存昕副団長、劉衛紅、呂建華、李華藝の諸氏)来日、歓迎の集い「尚長栄、濮存昕両氏に聞く―演劇に生きる―」を開催。
◎6月 「中日友好の架け橋 郭沫若展」(当協会など後援 岡山県立美術館で開催。羽田澄子氏演出「嗚呼 満蒙開



中華人民共和國建国60周年の祝賀行事に出席した辻井喬会長(左四)、黒井千次理事長(左一)、篠田正浩(左二)、佐藤純子両代表理事(右二)の諸氏。北京で古い友人作家王蒙氏(左三)と崔瑞芳夫人(右三)を訪ねた。中日友好協会の関涌氏(右一)と

—9月30日

拓団」岩波ホールで上映。

◎7月 「池口史子油画展」(当協会が実施協力) 中国美術館で開催、開幕式に范迪安館長、塩川正十郎、中野晩常任理事事務局長、吉野まやの諸氏らが出席。中国曲芸家協会代表団(姜昆団長、王汝剛副団長、籍薇、呉文科、陳寒柏、王敏、宋愛華、梅平、劉冰の諸氏)来日、「中国曲芸の魅力に迫るⅡ」(当協会、朝日新聞社など主催)公演。鳥取県文化界訪中団(永井伸和団長、上田京子、高橋孝之、小谷寛、佐古和



日本画家の松尾敏男代表理事(左一)の個展を鑑賞する中国文学芸術界連合会の孫家正主席(右一)

—10月20日 東京

枝、戸室道子の諸氏) 訪中。

◎8月 日本少年野球選手団(林満団長)一行三十二名訪中。
◎9月 中国文化フェスティバル開幕(中国文化部主催、当協会など後援、周恩来と日本) 写真展に王效賢氏らが出席。慶祝中国国慶六十周年・日中文化交流協会代表団(辻井喬団長、黒井千次、篠田正浩、佐藤純子、横川健の諸氏)訪中、北京で祝賀行事に出席。「青春之聲」(趙戈団長)、東京で初来日公演(ラサ企画、当協会主催)。

◎10月 久間十義氏、叢小榕氏が廬山国際作家キャンプに参加。中国文学芸術界連合会代表団(孫家正団長、黄文娟、趙平、沈曉剛、蔡偉良、呉誠の諸氏)来日。中国作家代表団(郭建華団長、曹乃謙、温軍、朱文穎、李錦琦の諸氏)来日。
◎11月 楊潔麗外相が来日、日中友好七団体が歓迎昼食会、栗原小巻代表理事、横川健専務理事が出席。日中文化交流協会代表団(栗原小巻団長、小林睦水、八木忠栄、上田良樹、鎌田幸二、小暮貴代の諸氏)訪中。
◎12月 習近平副主席が来日、日中友好七団体、華僑華人四団体がレセプション、辻井喬会長らが出席。



北京・中国美術館で「池口史子油画展」開催。開幕式に出席し、作品を鑑賞する(右から)塩川正十郎、范迪安館長、劉徳有、堺屋太一(左二)、井頓泉(左一)の諸氏。池口史子氏(左三)と

—7月9日



日本を公式訪問した習近平国家副主席(右)を歓迎する辻井喬会長

—12月15日 東京



中国新聞出版総署の柳斌傑署長(右三)を歓迎する野間省伸講談社副社長(左一)、山口昭男岩波書店社長(左二)、白井勝也小学館専務取締役(右二)、角川歴彦角川書店会長(右一)

—3月31日 東京



中国作家代表団の一員として来日し、交流会「中国の作家との午後」に出席した朱文穎氏(左一)。(右へ)水村美苗、リービ英雄、茅野裕城子の諸氏と

—10月29日 東京

孫家正主席(右三)をはじめとする中国文学芸術界連合会代表団が沖縄県那覇市を訪問。翁長雄志市長(右四)の歓迎を受けた。文連国際部の黄文娟主任(左三)、趙平アジア処長(右二)、宏幸の高谷宗良社長(左一)、那覇市の宮里千里総務部長(左一)らと

—十月十九日



二胡類を中心に編成された中国少年民族楽団擦弦オケストラの初来日公演「青春之聲」が実現。写真はNHK衛星第一放送「アジアクロスロード」に出演した楽団芸術指導の曹文工氏(右一)と二胡奏者ら。番組進行の加藤青延解説委員(左一)、小林恵子キャスタ

—十月一日

